

第 5 回日野市指定管理者候補者選定委員会議事要点録

日 時	平成 28 年 8 月 10 日（月）午後 1 時 30 分～午後 2 時 40 分
場 所	市役所 4 階 庁議室
出席者	坪島委員長、斎藤委員、増永委員、篠崎総務部長、大島企画部長、赤久保健康福祉部長
議 題	<p>日野市立中央福祉センター応募事業者によるプレゼンテーション</p> <p>1.本日の流れ、審査手順説明 2.審査（日野市立中央福祉センター：社会福祉法人 日野市社会福祉協議会） 3.前回採点結果報告、次回の説明</p>
議題 1	<p>● 本日の流れ説明、審査手順の説明</p> <p>事務局（企画経営課）より説明。</p> <p>(1) 日野市立中央福祉センターの指定管理者応募事業者のプレゼンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定管理者応募事業者（社会福祉法人 日野市社会福祉協議会）による説明 20 分 ・ 指定管理者応募事業者及び主管課（高齢福祉課）への質疑 20 分 ・ 採点 10 分 <p>(2) 選定結果及び決定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次回報告する
議題 2	<p>● 審査（日野市立中央福祉センター：社会福祉法人 日野市社会福祉協議会）</p> <p>事業計画書に基づくプレゼンテーション</p> <p>=主な質疑=</p> <p>(質問) 日野市社会福祉協議会（以下、日社協）については理解できたが、中央福祉センターについての説明が足りない。今までの利用状況はどうか、また、どういう人が利用しているのか、新規の人なのか、常連ばかりなのかどうか。その結果をどう分析し、どう考えているのか。</p> <p>(回答) 利用率は 7 割前後で、ほとんどが常連の方である。趣味の活動等のための定期的な利用が多い。新規の人はそれ以外の時間を使うことが多い。</p> <p>(質問) 利用率を見て運営をしているのか。介護予防の発信機関として、中央福祉センターをどう使っていくのか。問題に対する対策をどうするのか検討しているのか。</p> <p>(回答) 利用率については、改善の余地があると考えている。予約表が手書きのため、すぐに利用率等の数値が出ない。受付を依頼しているシルバー人材センターと調整して、パソコンでのデータ管理に切り替えていきたい。</p> <p>(意見) 今までの 10 年間の蓄積があるはずである。PDCA を回しながらやっているはずではないか。中央福祉センターの改善についても盛り込んでほしい。</p> <p>(意見) ホームページに場所や時間しか掲載されていない。他の指定管理者のホームページには写真や受付手順などが載っている。せっかく、日社協にはホームページ</p>

があるのに福祉センターについての記載がない。年配の人もホームページを見ている。情報発信はネットでもすべきだ。

(回答) 利用者目線に立った PR に努めたい。

(意見) 自主事業で行っている手話講習会の受講者が活躍する機会を設けていただきたい。特に、市の南部地域にも七生公会堂を利用するなどして設けてほしい。宝の持ち腐れにならないよう活躍の場を設けていただきたい。

(質問) 財務状況について、地域福祉活動積立資産の用途はどうなっているのか。

(回答) 日社協としての事業になるが、住民活動を促す地域の拠点づくり（地区社協）を南平地区に立ち上げたものを全市展開していきたい。また、個人への働きかけ（ケースワーク）の拠点として、権利擁護センター日野がある。地域権利擁護事業として認知症などの方の財産管理や権利擁護、成年後見利用支援事業に取り組んでいる。また、災害ボランティアセンターとして、被災時の立ち上げや平常時の備えを行っている。社会福祉法の改正に対応した取り組みも行っている。住民交流促進、認知症・介護予防、災害ボランティア・災害時への備えの 3 つの事業を中心にしている。

(質問) 日社協の事務所が中央福祉センターにあり、この形が定着しているが、今後もこれがあるべき姿と考えているか。

(回答) 先程の質問の事業資金の蓄えには、万が一、建替になった場合の仮事務所資金も含まれている。中央福祉センターは老朽化しており、何年先までいられるかわからない。より良い福祉センターとして地域福祉の拠点のひとつになるよう、日社協は引き続き協力していきたい。

(質問) (日社協事務所は) 福祉センターと併設でなくても支障はないか。

(回答) 現時点ではっきりとした考えを持っているわけではないが、高幡と統合して一つの事務所として効率化していきたい。適当な場所があれば、中央福祉センターでなくても柔軟に対応できる。

(意見) 先程の説明のように、日社協が外に出て、事業展開をしていく方向であれば、中央福祉センターに大きな機能がなくても良いのではないか。

(質問) 今回、湯沢福祉センターに応募せず、一つに絞った理由はなぜか。

(回答) 率直に申し上げると、湯沢福祉センターには、他にも応募を希望するところがあると考えたためである。

(質問) 日社協として、指定管理をするのに貸部屋とセットで考えているのか。別に事務所を構えて、優先的に使える貸部屋があれば良いのか。

(回答) 適当な場所があれば、別に中央福祉センターの中でなければならないことは無いと思う。日社協が持つ地域づくりと福祉の推進のために、柔軟に対応したい。

(質問) ヘルストロン（電位治療器）及び入浴の利用状況を教えていただきたい。また、その状況を指定管理者としてどう捉えているのか。

(回答) 風呂は 1 日あたり約 40 人が利用し、週 2 回で年間 100 日実施している。設置当初

は、健康管理が目的だったかと思われるが、最近では、利用者同士のトラブルも増えている。小規模なので一度に2、3人しか入れない。ヘルストロンも同様だが、無料で限られた人の利用となっているので、費用対効果の面から正直どうかと思う。しかし、利用者を増やすのはハード面が追いつかない。風呂は、福祉センターとして位置づける際、設置しなければならず、設けたと思われる。他市は廃止する際に、議会で議論している。

(意見) 収支計画、要員計画に人件費が入っていないこと自体に違和感がある。やはり、人件費を計上することがあるべき姿なのではないか。利用状況の分析等に関わる人を増やして、運営の工夫をした方が良いのではないか。また、空調等施設が古くなっており、段差も多い。利用者から文句が出ていないのか、それともわかっていて使っているのかわからないが、市との協議になると思うが、方向性をはっきりしてもらいたい。

議題 3

● 前回採点結果報告、次回の説明

事務局（企画経営課）より説明。

・ 前回の採点表の集計表（日野駅西駐輪場ほか3施設）を事務局から配布した。

・ 次回選定委員会について

日時 平成 28 年 8 月 12 日（金）13:30 から

場所 市役所 4 階 庁議室

次回に向けたお願い

～第 5 回日野市指定管理者候補者選定委員会（日野市立中央福祉センター）終了～